



# 自民党

## 府議会報告

vol. 59 2月定例会

### 平成30年度当初予算および平成29年度2月補正予算(14か月予算)の概要

総額 8,629億7,800万円

平成30年度当初予算 8,519億7,200万円

平成29年度2月補正予算 110億600万円

#### 共生社会推進7事業

◆介護予防地域支え合い事業	1億 300万円
◆障害者サポート強化事業	2億8,500万円
◆医療安心事業(国保特会35億9,000万円含む)	40億1,400万円
◆ひきこもり未支援者特別対策事業	1,700万円
◆きょうとこどもの城強化拡大事業	1億6,800万円
◆農村型小規模多機能自治推進事業	2億 100万円
◆京都企業共同拠点整備事業(2月補正)	20億 400万円

◆ものづくり産業正規雇用化事業 5,800万円

◆観光産業正規雇用化事業 3,900万円

◆人材確保・就労改善サポート事業 4,700万円

◆ブラックバイト対策事業 300万円

#### 「明治150年」京都創生3事業

◆文化を創る人づくり事業 3,700万円

◆明治150年記念京都発信事業 8,900万円

◆文化庁移転準備費 1億1,300万円

#### 京都基盤整備3事業

◆防災・減災緊急対策事業(2月補正含む) 345億6,600万円

◆生活基盤等緊急整備事業(2月補正含む) 111億3,200万円

◆スポーツ基盤等整備事業(債務負担行為6億3,000万円含む) 58億6,300万円

#### その他

◆京の米農家維持緊急対策事業 2億2,000万円

◆新しい学び・推進事業(2月補正含む) 1億4,600万円

平成29年度2月補正予算案については中村正孝議員が、平成30年度

当初予算案については近藤永太郎議員が賛成討論を行いました。

#### 人手不足等緊急対策13事業

◆新卒人材確保事業	4,600万円
◆UIJ・移住人材確保事業	8,500万円
◆留学生府内就労促進事業	300万円
◆女性活躍拡大強化事業(2月補正含む)	3,000万円
◆「高齢者ジョブ博」開催事業	800万円
◆障害者雇用定着支援事業(再掲)	1億3,600万円
◆若者就職・定着特別支援事業	5,900万円
◆中部北都部確保緊急対策事業	1,900万円
◆看護・介護事業者業務効率向上事業(2月補正含む)	600万円

平成29年度2月補正予算案については中村正孝議員が、平成30年度

当初予算案については近藤永太郎議員が賛成討論を行いました。

2月定例会での質問項目の一部抜粋です。※京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>) で録画中継をご覧ることができます。

2月定例会  
代表質問

2月定例会  
一般質問

予算特別委員会  
総括質疑

#### 府議会広報番組

放映予定 (KBS京都)

3月25日(日) 10時~10時30分

(再放送 3月27日(火)深夜2時05分~2時35分)

「府議会cafe京都」(第5回)

今回は総務・警察常任委員会の活動が紹介され、渡辺邦子委員長と石田宗久副委員長のほか、わが会派の委員が出演します。

#### 政務調査活動

自民党議員団は、皆様の声を府政に反映させるために、各地を調査、各団体との勉強会や意見交換会を行っています。



[A] 西日本旅客鉄道株式会社の本社にて、奈良線や片町線・関西本線・山陰本線の高速化・複線化等について要望活動を行い、意見交換(大阪市北区)

[B] 公益財團法人アソシエーションが熊本地震後に策定した中期計画について説明を聴取した後、阿蘇神社の復旧状況を調査。同センターは、熊本県と阿蘇郡12か町村により創設された機関を前身とする、観光地域形成の展開を図る主体(熊本県阿蘇市)

[C] URB都市機構男山団地中央センター内「だんだんテラス」にて、「まちの公共性」による男山団地活性化の取組について調査。「まちの公共性」とは、地域に居住し各自の仕事を持ち、地域住民その他の関係主体と協働關係を築き、課題解決に長期的に取り組む人材(八幡市)

[D] 三重大学における地域医療教育の取組について調査。同大学は市町村振興協会や県と連携して地域医療教育に入れており、初期臨床研修での県内病院マッチング数の増加など具体的な成果が出ている(三重県津市)

[E] 熊本県立東稜高等学校にて、熊本地震における同校の被災状況について説明を聴取した後、校内の被災箇所や復旧箇所等を確認(熊本市東区)

#### 勉強会

■平成30年度当初予算案等に関する政調会10部会での勉強会

自民党が提出し、可決された意見書

この意見書は、衆参両議長・総理大臣・所管大臣に提出します

■高齢者・若年成人等の消費者被害を防止・救済する実効的な消費者契約法の改正を求める意見書

2月定例会での質問項目の一部抜粋です。※京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>) で録画中継をご覧ることができます。

#### 16期16年間の府政運営を評価し、残された課題と今後の府政運営のあり方にについて山田知事の見解を問う!!

○平成30年度当初予算案 知事選を控えた骨格的予算ながら、国の補正予算も積極的に活用した山田府政の総仕上げたる予算で評価。  
○共生社会の実現 知事の目標す姿にどこまで近づいてきたと考えるか。家族の絆の再生に向け、どのように対応すべきと考えるか。  
○少子化対策の強化策 急速に少子化が進み、未来を担う子供たちが減少する中、今後どんな取組を重点的に進めるべきと考えるか。  
○文化力による経済活性化 地域文化の保存・継承を図りつつ、幅広い分野での活用を進め、府域全体の地域活力や経済活性化に結びつけることで、将来にわたりわが国の文化行政を先導する役割を果たすべきと考えるが、知事の考えは。 ○二元代表制の意義 二元代表制をどのように考え、今後どのような方向に進むべきと考えるか。

16年の知事の経験を通じて見えた未来の「世界交流首都」「文化首都」京都のあり方について問う。

①二之湯: 「世界交流首都・京都」の実現に向けて、国際化に対する市民理解の促進が不可欠だ。 山田知事: 既に在留外国人は250万人を超えて京都府の人口と等しい数であり、議員の指摘通り、京都は外部の力をうまく取り込み発展をしてきたので、相互理解の中で発展の力に変えていく京都を目指さなければいけない。議員が尽力されるイタリアとの文化芸術交流も、そのように進展すれば、新しい未来を切り拓く力になる。  
②二之湯: 京都が「文化首都」なら、「日本らしい生活」を支える「経済の仕組み」を提案する議論がある。 山田知事: 京都が文化首都になるには、持続可能な社会をつくる様々な生き方、働き方、過ごし方等、効率性、経済性で測りきれない洗練された文化性の高い生活によって、交流が進み、経済価値を生み出しこ続けるべきである。

16年の知事の経験を通じて見えた未来の「世界交流首都」「文化首都」京都のあり方について問う。

①二之湯: 「世界交流首都・京都」の実現に向けて、国際化に対する市民理解の促進が不可欠だ。 山田知事: 既に在留外国人は250万人を超えて京都府の人口と等しい数であり、議員の指摘通り、京都は外部の力をうまく取り込み発展をしてきたので、相互理解の中で発展の力に変えていく京都を目指さなければいけない。議員が尽力されるイタリアとの文化芸術交流も、そのように進展すれば、新しい未来を切り拓く力になる。  
②二之湯: 京都が「文化首都」なら、「日本らしい生活」を支える「経済の仕組み」を提案する議論がある。 山田知事: 京都が文化首都になるには、持続可能な社会をつくる様々な生き方、働き方、過ごし方等、効率性、経済性で測りきれない洗練された文化性の高い生活によって、交流が進み、経済価値を生み出しこ続けるべきである。

16年の知事の経験を通じて見えた未来の「世界交流首都」「文化首都」京都のあり方について問う。

#### 北部産業創造センターに大きな期待! 子ども向けプログラミング教室も開催南北格差の原因「北部人事」に物申す

▶(仮称) 北部産業創造センターは従来の機器貸付や技術相談にとどまらずに、産学による支援機能を大幅にアップし、新事業の展開や産業人材の育成等を目指す総合的産業支援拠点として期待される  
▶子ども向けプログラミング教室や研究者・技術者と子ども達が夢を語り合うようなワークショップを開催すると事が答弁。  
▶府の南北には生活や教育、交通の大きな格差があり、府の職員が北部には異動したがらない実態がある▶予算や権限を本府に集中させず、北部府庁を創設して副知事が常駐し、機能分散するべきだ。

16年の知事の経験を通じて見えた未来の「世界交流首都」「文化首都」京都のあり方について問う。

#### ①コメ政策の転換へ新たな対応を! ②ひとり親家庭への支援の拡大を! ③ムスリム対応のハラール食の普及!

①今年、生産数量目標配分が廃止され、米の直接支払交付金制度も廃止される。コメ政策の見直しを踏まえた農家の収益確保に繋がるブランド米開発など水田農業に対する支援の拡大! ②子供の居場所づくりや子供食堂は、いつまでにどの程度必要とお考えか? 子供の生活習慣の確立の為、朝食の提供や食物アレルギーへの対応メニューづくりも必要! ③乱立するハラール認証の整理及び府の認証制への積極的関与をすべき! ハラール食の促進について、食品安全団体と連携ネットワーク構築し、勉強会や情報発信などが必要!

16年の知事の経験を通じて見えた未来の「世界交流首都」「文化首都」京都のあり方について問う。

#### ☆「現代アートとビジネス」について ☆農業振興と有害鳥獣対策について ☆自殺防止対策について

☆アーティスト・イン・レジデンスについては、今はまだ理解されがたいが、リサーチを中心とした短期的なものであったが、中期的なものも行うと聞いている。アーティストの行動・行為・制作の過程が結果として地域に活力が生まれるので今後の方向性を伺いたい。  
☆京都府の農地は約7割が中山間地域の農地であり、収入源を確保し農地の荒廃や空き家を防がなければいけない。その方策として多業の推進や直接お米を購入する「地域支援型農業」が必要であるのと、有害鳥獣対策が急務であるが一向に減数にならない、年数を限制して個体数を減らす思い切った方策が急がれるが考えを伺いたい。  
☆若者が利用するSNSやツイッターに投稿された自殺願望などが悪用され命を奪われた事件の再発防止など自殺対策の取組を問う。

16年の知事の経験を通じて見えた未来の「世界交流首都」「文化首都」京都のあり方について問う。

#### ①文化首都・京都の更なる発展について ②京都発国際交流の推進について ③グローバル時代の人材育成について

①平安遷都以来の日本の歴史の中で、文化の都として君臨し続けた京都が、次なる時代においても文化首都・京都として発展していくための展望について。現在の京都の芸術系大学等の卒業生がこの京都で活躍できるように、文化を創る人づくり事業費や明治150年記念京都発信事業費などを計上されているが、どのような考えのもとで事業を展開するのか。  
②また、若手アーティストのサポートも重要と考えるがどうか?  
③府は、積極的な国際交流を進め、京都の国際的存在感を高める必要があるのは周知のこと。本府の国際交流の更なる推進について知事のご所見は? ④グローバル人材の育成に向けた高校生の海外留学支援の取組は全国に先駆けた事業だが、単に英語能力を涵養するだけでなく、人間力の備わったグローバル人を目指してどのように取り組むのか?

16年の知事の経験を通じて見えた未来の「世界交流首都」「文化首都」京都のあり方について問う。

#### 皆様の声を府政に届けるため、28名全力で頑張っています!! 私たちに、ご意見・ご要望をお聞かせください。



## 自民党京都府議会議員団

☎075-414-5555

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入ル蔵ノ内町 京都府議会棟内 FAX 075-414-5563  
<http://www.jimin-kyotofukai.com> Eメール office@jimin-kyotofukai.com